命にかかわる大問題 ー災害時のトイレと向き合おうー

1 ねらい

・災害時にはトイレ問題が発生すること、またトイレ問題は命にかかわる問題であることを知る。
・災害時にトイレを確保するために、家庭や自分自身がどのような備えをしておくべきか、多様な選択肢を考える(ハード面)。
・災害時に「トイレに行くことを我慢しない」意識をもち、その重要性を周囲にも伝えられるようにする(ソフト面)

2 展開

<table>
<tr><th>時間</th><th>主な学習活動</th><th>指導上の留意点</th></tr>
<tr><td>導入</td><td>1 災害時のトイレの問題について知る。
(1)「災害時の備蓄」と聞いて思いつくものを挙げる。

(2) タブレットで災害時のトイレ画像を検索し、率直な感想を共有する。</td><td>・水・食料が中心になりやすい。
・「トイレ」と答えた生徒がいれば理由を尋ね、発想の広がりを促す。
・TKB48
トイレ・キッチン(食料)・ベッドを48時間以内に準備
・災害時には「トイレ」が大きな課題となることに気づかせる。
・防災ノートには、トイレの記載はほとんどないが、大切であると震災経験からわかってきたことを熊本地震等の話を含めて伝える。
・「汚い」「行きたくない」「我慢したい」などの声を受け止め、災害時の現実を理解させる。</td></tr>
<tr><td>展開</td><td>2 災害時のトイレ問題が「命にかかわる大問題」である理由を知る
(1)漫画『災害時のトイレ』(国交省)を見る。
Q:マンションのトイレで水が流せない場面
A:お風呂の水で流す
B:我慢して流さない
(2) なぜ命にかかわるのかの説明を聞く。</td><td>・正解は B 排水管の破損が未確認の状態では、流すことで逆流・漏水の危険があるため。

・トイレ環境の悪化は、感染症の拡大を招く。
・トイレを我慢するために水分・食事を控えるとエコノミークラス症候群の危険が高まる。
・正しい知識を周囲に伝えることが、多くの命を守る行動につながることを強調する。</td></tr>
<tr><td></td><td>3 災害時に使える携帯トイレについて知る。
携帯トイレの種類と特徴を確認する。</td><td>(1)携帯トイレの種類(凝固型、吸水型)及びそれぞれの利便性などを確認する。
<table>
<tr><th></th><th>凝固型</th><th>吸水型</th></tr>
<tr><td>仕組み</td><td>高分子吸水ポリマーなどの粉末や顆粒を排泄物に入れ、水分を素早く化学反応でゼリー状に固める。</td><td>袋の底などにセットされた吸水パット(シート状の綿・ポリマー)に、水分</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td></td><td>
<table>
<tr><td></td><td></td><td>を染み込ませて保持</td></tr>
<tr><td>特徴</td><td>安価・軽量・持ち運びしやすい</td><td>容量が大きく、比較的高価</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>展開</td><td>4 携帯トイレの使い方を知る。
教師が実物を使って手順を実演する。</td><td>・前向きな声掛けで「実験」のような雰囲気をつくる。
・ 希望者に体験させ、実際の使い方を具体的に理解させる。
（参考）
携帯トイレ：既存の洋式便器に取り付けて使う「便袋」。凝固剤や吸水シートで排泄物を処理する。
簡易トイレ：便器が使えない場所に設置する、便座を組み立てるタイプ。</td></tr>
<tr><td></td><td>5 災害時に必要な１週間のトイレの回数・備蓄量を計算する。
（1） １週間分のトイレの回数を計算する。
（計算式）
家族の人数×1 日の平均的なトイレ回数（5 回）×7 日分
（2） トイレットペーパーの必要量を計算する。
1 人：一回80 ㎝～1m →1 週間で１ロール
（3） 自分の住居や家族の状況で考える。
・排出されるごみの量・保管場所・廃棄方法を考える。</td><td>・携帯トイレを備蓄していても「数が足りない」家庭が多い。
・「停電で暗い時はどうするか」「車内で使う場合はどうするか」「家族構成から、どんな種類の備蓄をするよいか」など具体的な状況を想定させる。
・</td></tr>
<tr><td>まとめ</td><td>6 グループでワークシートをもとに話し合い、発表する。
・自分の住居や家族の状況で考える。
・排出されるごみの量・保管場所・廃棄方法を考える。</td><td>・自分の家庭のことで考えさせるのに配慮が必要な場合は、一般的な場面で考えさせる。
・ごみの保管・廃棄方法も重要であることに気づかせる。
・ ハード面（携帯トイレ・簡易トイレ・保管場所）とソフト面（我慢しない・周囲に伝える）を整理する。
・ 発表を通して、災害時のトイレ問題が「命を守る行動」であることを再確認する。</td></tr>
</table>